

目 次

はしがき	
組織図	1
研究所に関わる最近の研究のうごき	2
母なる海、黒潮の生物生産を観察し続ける研究	5
海況予測モデルの安定運用と予測精度の改良	6
太平洋クロマグロ仔魚と水温の関係	7
大規模変動する海洋生物資源の税による管理	8
日本近海クロマグロを対象とした漁業の実態	9
若年漁業者が存在する条件	10
組織学的観察による魚類産卵履歴の推定—アユは一生に一回しか産卵しないわけではない—	11
黒潮続流フロント域におけるカタクチイワシ仔稚魚の微細水平分布	12
土佐湾におけるマイワシ稚魚の成長解析	13
ベイズ型 VPA を用いた資源量推定	14
現場飼育実験手法を用いてアサリの成長生残に影響する環境要因を調べる	15
サザエはどのくらいヒジキを食べているか?	16
ダムの下流で起きる川底の「露盤化」をどうするか?	17
カワウ食害管理にむけて	18
アユの遡上量を予測する	19
餌の生産力と川の物理環境がアユの生息密度に及ぼす影響を調べる	20
中山間地域社会にもたらすアユの恩恵を評価する	21
ヒメマスが食べる餌生物の生産量を推定する	22
下痢性貝毒ペクテノトキシン6の精製と毒性評価	23
カタクチイワシの新しい「すり身」へチャレンジ —丸ごと全部を利用しよう—	24
水産食品製造用の乳酸菌発酵スターターの開発	25
マグロの遺伝子を調べる	26
江戸時代からクロマグロの漁獲量はどのように変動したか?	27
【参考資料】 中央水産研究所で行われている研究課題 (平成20年度)	28
【参考資料】 中央水産研究所の推進会議体制	31